

平成20年度第2回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成20年9月27日(土) 午前10時～12時15分

2 開催場所 中央図書館2階集会室

3 出席者

(委員) 方波見委員長 坪井副委員長 谷口委員 奥村委員 田中委員 岩崎委員
小出委員 根津委員 増田委員

(事務局) 森田館長 本多係長 長田係長 林主任司書

4 議題

(1) 前回会議内容の確認

(2) 報告事項

①平成20年度利用統計及び事業報告について(4月より8月)

②中央図書館開館25周年記念事業「図書館まつり」について

(3) 協議事項

①図書館法改正(第7条関係)に伴う方策について

5 議事の概要

① 前回平成20年度第1回の図書館協議会の会議内容について議事録に基づき確認を行った。

② 平成20年4月より8月までの利用統計及び事業について事務局より報告を行った。

③ 中央図書館開館25周年記念事業「図書館まつり」について事務局より報告を行った。

④ 図書館法改正(第7条関係)に伴う方策について、今後の浦安市立図書館の取り組みについて協議した。

6 会議経過

前回平成20年度第1回図書館協議会の会議内容について議事録に基づき確認を行った。

前回の議事録は承認された。

平成20年4月より8月までの利用統計及び事業について事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

- (質問) 統計表のフロアーの欄が0になっているのはなぜか。書架整理などしているときに受ける質問等ではないのか。
- (回答) 時間帯を決め、専任職員がフロアーに出てサービスを行っていたが、現在は行っていないので、表から削除したほうが良いかもしれない。フロアーで受けた質問は、本の案内の数字に含まれている。
- (意見) 明海大学のホームページでは市立図書館との横断検索ができるが、図書館のホームページではできないが、将来的には図書館でもできるようになると良い。
- (回答) システムの構築にはコストもかかるため、明海大学で開発したシステムをご案内している。ホームページ上での横断検索システムとのリンクなども考えてゆきたい。
- (質問) 明海大学の利用数が7というのは少ないのではないか。
- (回答) この数字は明海大学の利用数ではなく、市立図書館で所蔵していない本で、明海大学で所蔵していたものを大学より借りた件数である。

中央図書館開館 25 周年記念事業「図書館まつり」について事務局より報告を行った

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

- (意見) 教育委員会や、市長部局が一体となって事業を行った点が良かった。
- (意見) リサイクル本の配布の際には、専門書と一般書を分けたほうが本を探しやすいのではないか。
- (意見) 古本の中に図書館の本が見られることがある、リサイクルに出す前に専門書は明海大学や了徳寺大学に差し上げる配慮もしたらどうか。
- (意見) PRについて、自治会においてもリサイクルに関心が強いので、自治会を通じて行うことも効果があると思う。市の財産である図書を無料での配布であり、受取る側の満足度を考えると一工夫あってもよいかと思う。
- (質問) 蔵書印を消して提供しているのか。
- (回答) 蔵書印は使用していないが、バーコードにシールを貼ってリサイクル用の本を区別している。

図書館法改正(第7条関係)に伴う方策について、今後の浦安市立図書館の取り組みについて協議した。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

- (意見) 市の長期計画や施政方針等とバランスをとりながら、オーバーワークにならないように気をつけて目標を定めてもらいたい。
- (意見) 図書館に関しては指標がはっきりしているが、言葉がわかりにくく伝わりにくい。市民のわかる言葉で表現したものが、定期的に又はホー

ムページ等で伝えることが必要である。

(回答) 市で行っている事務事業評価についても市民にはわかりにくいと思われる。こういう具体的な意見を出してもらいたい。

(意見) たとえば、図書館の館報であるが、発行のサイクルがわからないし、内容もわかりづらい。もっとコミュニケーションの取れるものにしてもらいたい。ホームページについても同様である。

(回答) 館報は年3回の発行であるが、周期が一定ではないのが現状である。

(意見) 館報は1枚のものでも良いから毎月出すなど、定期的に発行してもらいたい。

(意見) ホームページがおとなしい。特に検索系を強化してもらいたい。雑誌の内容からの検索ができない。雑誌と図書のリンクができればもっと資料提供が充実できる。千葉市と富里市などはリンクされているようである。横断検索もできると良い。

著作権の切れた作品を集めた青空文庫というものがある。こういうところともリンクさせることも有用である。現在のリンク集を充実させてもらいたい。

(意見) 浦安市に関するインターネット上の情報を保存していく必要があるだろう。また、開館当初から行っている浦安市の新聞記事の情報のデータベース化を進めてもらいたい。

(意見) 浦安市の図書館報は内容はいいのだが、コミュニケーションがうまくない。横芝光町、市川、身延町等の館報やホームページが参考になる。

(意見) NHKの番組で市川の図書館を取り上げていたが参考になった。一般の主婦の図書館の利用の仕方の中で「わからないことがあったら図書館へ行け」「わからないことは司書に聞け」とあった。図書館職員をもっと利用することを一般の利用者も意識すると良いと思った

(回答) 職員を利用していただくことは当然のことである。それをもっとアピールしていくことが大事かと思う。

(意見) 市民からいかに評価されているかの指標には利用数などもあるが、困ったとき、わからないときにいかに情報で提供して解決できたかというプロセスが市民からの支持率指数となる。

(意見) 番組で紹介されたことは浦安の図書館ではかなりの部分できている。さらにPRを積極的に行って欲しい。

(回答) 図書館を評価する意見ありがたく思う。ただ、慢心があってはならない、より細部にも目を配ってゆきたい。

(意見) まだ図書館に来ていない人たちへの働きかけも忘れないで欲しい。

(意見) 就学支援などに他の部局と連携して取り組むなど、図書館の視点以外の視点を持つことも必要である。

(意見) 自治会を利用した情報提供も有効である。

- (意見) 人と人との出会いの場としての図書館を大事にして欲しい。
- (質問) 図書館に来ない年齢層などの調査はしているのか。
- (回答) 市民意識調査によれば、比較的満遍なく図書館を利用しているとの結果が出ている。
- (意見) 幼児教育の部分が進んでいると思うが、今後の課題としては高齢者への支援が重要ではないか。
- (意見) 中学生から大学生になるまでの間は、本の指針が無い。この時期へのサポート、ヤングアダルトコーナーがあってもよいと思う。
- (意見) 他の図書館のヤングアダルトコーナーを見ると、子どもよりに見えるが逆である。今の中学生は何を読んでいいかわからない。
- (回答) 児童室は中学生までを対象に蔵書を構築している。また毎年中学生向けの推薦図書リストも学校を通して配布している。展示等も行っている。高校生につきましては一般の範疇として取り扱っている。
- (質問) 新刊書の何パーセントぐらいを確保しているのか。
- (回答) タイトル数で2万5千から3万タイトル程度購入している。
- (意見) 大規模改修の意見にもあるが、一般フロアの円形のソファはつながっているので、みな1つおきに座るなど使い勝手が悪いと思う。
- (意見) ホームページで個人が不要になった本の寄贈を呼びかけている図書館もあった、そのような本の活用も考えたらどうか。
- (回答) 寄贈本は年間1万数千冊毎年いただいている。図書館の蔵書にするものもあるが、リサイクルコーナーや市民まつりで市民への配布も行っている。

7 傍聴者なし